



日本分子生物学会 年会保育室ことはじめ

日本金属学会2005年春期大会
2005年3月29日

大坪 久子
日本分子生物学会・男女共同参画WG
(東京大学・分子細胞生物学研究所)

日本分子生物学会とは

研究対象はナノ分子から個体まで、研究分野も生物学、医学、農学、薬学、そして先端学際領域と広くカバーしている。

分子生物学的方法論

DNA-RNA工学・タンパク質工学
・糖鎖工学・ノックアウト生物
トランスジェニック生物
遺伝子診断

分子構造・生命情報

ゲノム構造
ゲノム・インフォマティクス
プロテオミクス
分子進化 他

高次生命現象

免疫・発生分化・形態形成
再生・幹細胞・脳神経・
老化・がん・遺伝性疾患

細胞の構造と機能

核内構造と機能・
オルガネラ・細胞間認識
タンパク質の輸送と局在
細胞骨格・細胞増殖・
細胞周期・シグナル伝達

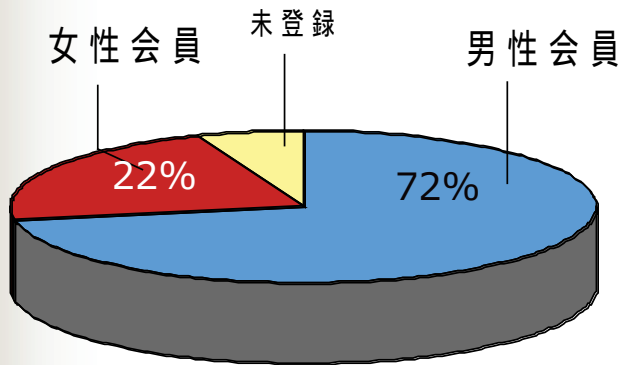
分子・複合体の機能

複製・組換え・転写・翻訳
トランスポゾン
ジーンサイレンシング
エピジェネティック制御
RNAプロセッシング



分子生物学会会員の構成

会員の男女比

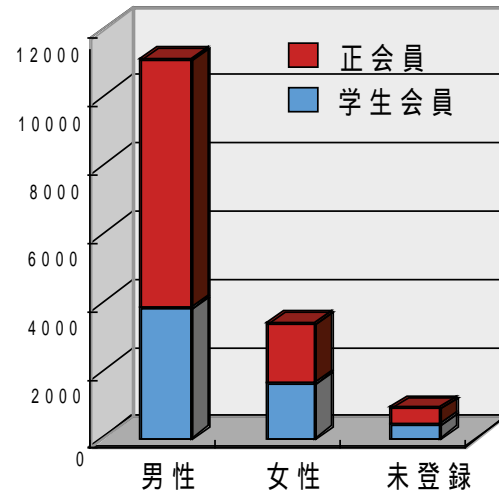


会員総数 15388名

会長 1名・評議員 28名・幹事 3名

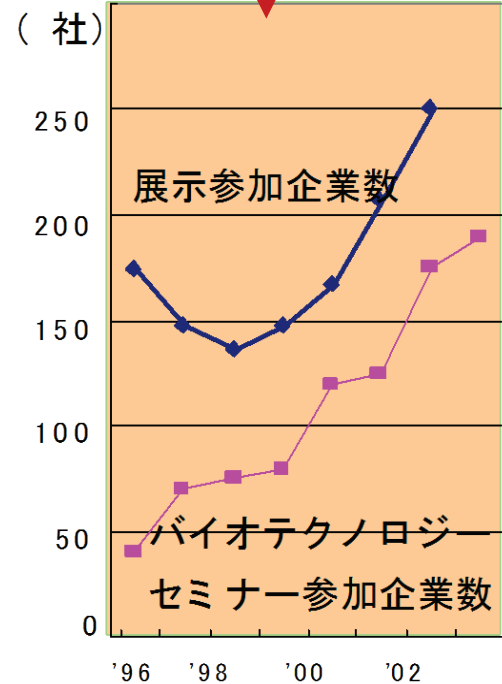
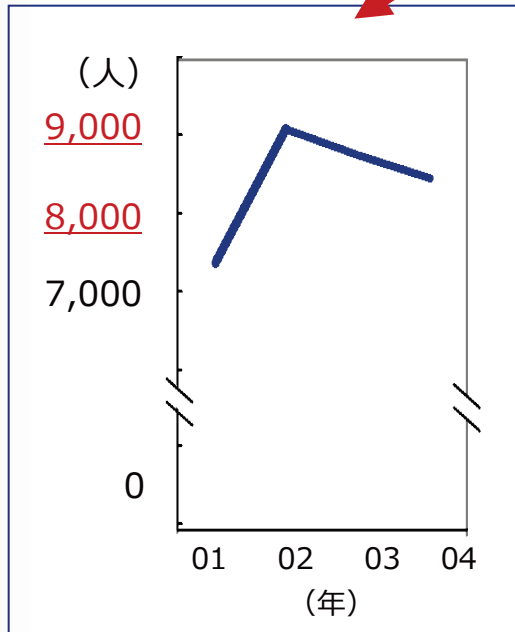
(内女性 3名)

正会員と学生会員の比率 (男女別)



(2005年3月1日現在)

年会参加会員数と企業数



マンモス年会である
企業の展示やセミナーが多い

背景：年会保育室が必要とされるわけ

年会保育室がなかったら、あなたはどうしましたか？

- 自分の発表日のみの参加を余儀なくされた。
- 参加・発表をあきらめた。
- 会場近隣の民間託児施設を利用した。
(保育料が高い、事前調査が大変)
- 実家の両親に保育を依頼した
(自宅→実家→年会→実家→自宅：時間とお金が大変かかる)

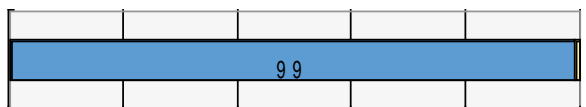
母親研究者にも大きく門戸を開いた学会であってほしい!!

年会保育室のあゆみ—2000年

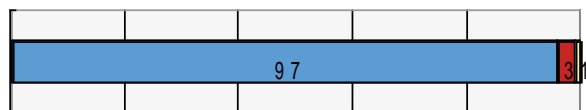
若手有志によるアンケート（回答101名）

2000年12月・
第23回年会会場にて

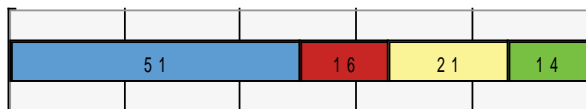
会場内保育室は
必要だと思いますか？



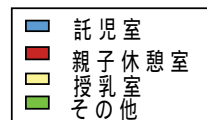
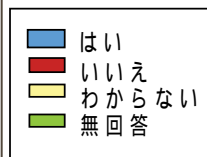
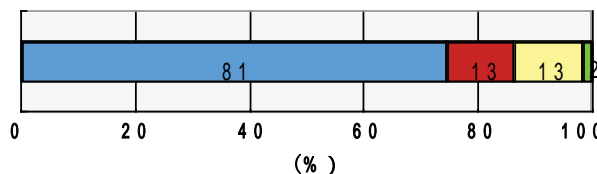
学会からの援助は必要
だと思いますか？



年会保育室があれば
利用しますか？



どのような保育室を
希望しますか？



第24回年会の懸案事項となる

年会保育室のあゆみー2001年

- 1月：年会長が諮問機関を設置
(50代の母親会員2名)
- 3月：諮問機関から年会長へ「下記の条件で設置能、

是非設置させてほしい」との策定書提出

- ・ 年会は場所と設備を提供、運営はWG
- ・ 保育は社団法人全国ベビーシッター協会による傷害保険・賠償保険に加入しているシッター会社*へ委託(1人/2億円)
- ・ 年会長が契約
- ・ 保育料を低廉に抑えるため、企業からの寄付を受ける
- 5月：年会長の決断でゴーサイン

* これまでに2社利用した。

評議員会内の
慎重派を説得
するために

年会保育室のあゆみー2001年続き

- 5月：年会保育室設置WGがスタート
30代子育て現役の母親研究者3名が加わる。
 - ・業者の選定・賠償保険設定・保育室の選定・保育室の案内
 - ・利用申込書と誓約書フォーマット作成・利用申し込み受付・
 - ・業者および年会事務局との連絡・寄付集め等々、セットアップにかかわるすべて（次年度以降はそのまま踏襲）
- 12月：第24回年会保育室の成功：17家族 34名・パシフィコ横浜
- 2002年1月：WGから評議員会へ要望書の提出
 - ・寄付ではなく、学会からの補助を。
 - ・ボランティアによる運営ではなく学会事務局による運営を。
- 2002年5月：評議員会で正式にみとめられる。
以後、年会組織委員会の担当で継続的に設置

年会保育室のあゆみー2002年以降

- ・ **保育室**

本人負担 1時間400円（昨年以前1時間400～800円）
業者に委託する形式（費用の9割以上を学会で負担）
ガードマンの配置

- ・ **利用者**

2001	17 家族19 名	(のべ34 名	1人あたり1.8日)
2002	20 家族25 名	(のべ45 名	1人あたり1.8日)
2003	12 家族14 名	(のべ32 名	1人あたり2.3日)
2004	25 家族29 名	(のべ81 名	1人あたり2.7日)

- ・ **親子休憩室**

おもちゃ・絵本・オムツ替え
授乳・搾乳・
3会場すべてに設営

保育室の特徴：2003年の例

- シッターさんの配置
 - 0～1 歳児：こども2人/シッター1人
 - 2～3 歳児：こども3人/シッター1人
 - > 4 歳児：こども5人/シッター1人
- 保育時間
プログラム開始30分前～終了30分後まで
30分刻みで申し込める。
- カーペット敷き、玩具、寝具、加湿器、ビデオ、絵本
お絵かきセット、工作材料
- おやつ、お昼寝、お散歩、トイレタイム：規則正しい保育
- 昼食は親と一緒にとる。

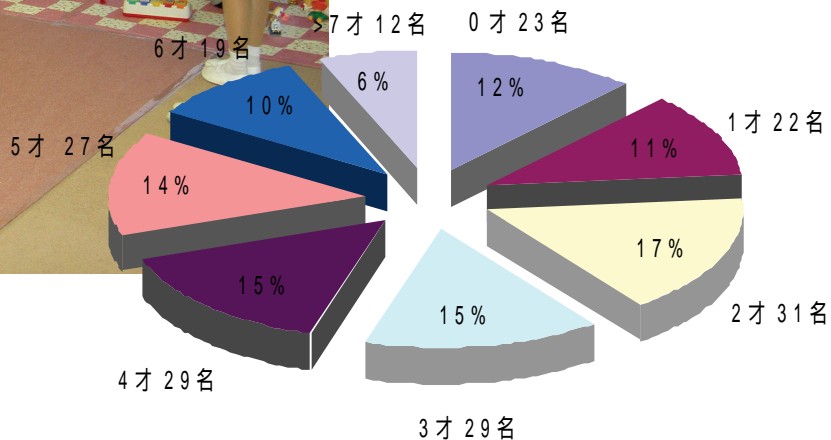


利用した子供の年齢はほぼ均等に分布

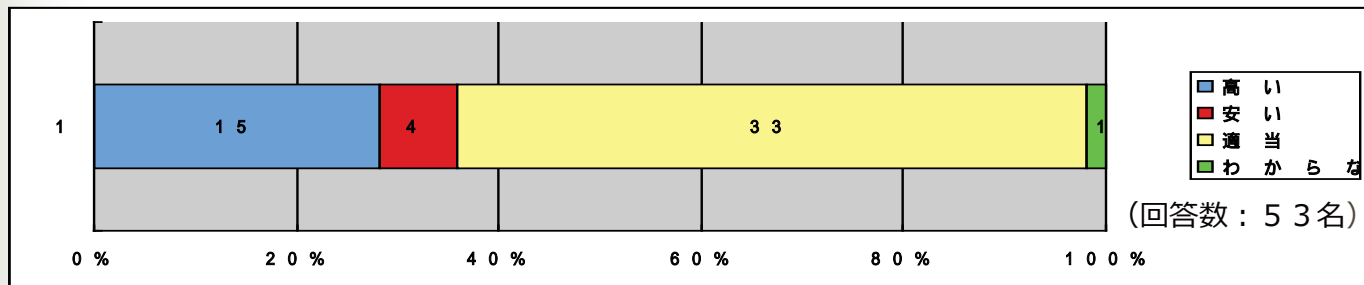


第1回～4回までの
延べ人数

ほぼ均等に分散



利用者の反響：保育料について



	2001年	2002年	2003年	2004年	
0才児	800	800	800	400	(円/時間)
1才児以上	600	600	400	400	

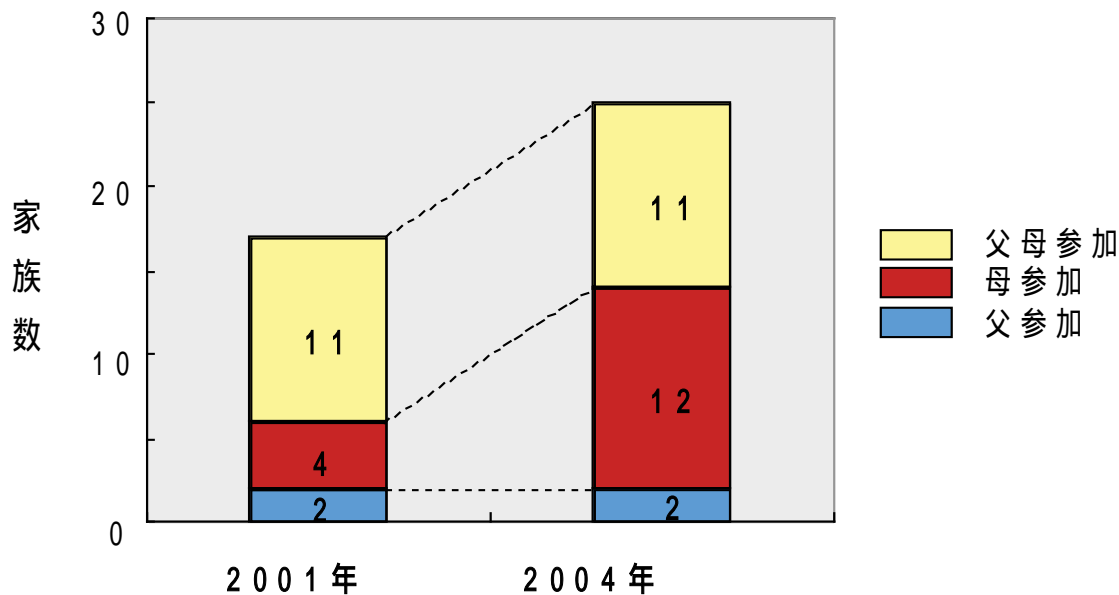
↑
1家族あたりの保育料：1,200円～15,600円



利用者の反響：防犯上の問題

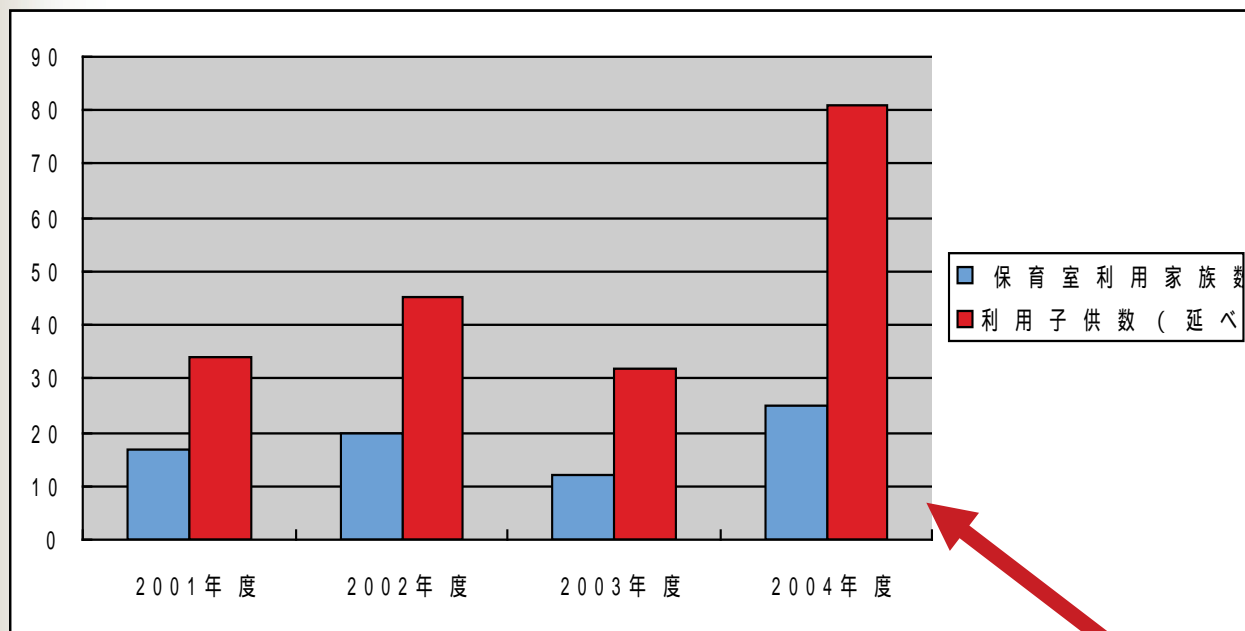
- 第1回：年会会場に保育室の案内板を設置。
見学者が続出、シッターさんから苦情。
- 第2回以降：保育室の場所は利用者だけに 通知、案内板にも部屋番号は記載しない。
- 第3回以降：年会長の判断でガードマン配置
その分の年会負担増（～7.5万円）

母親研究者の年会参加が大幅アップ



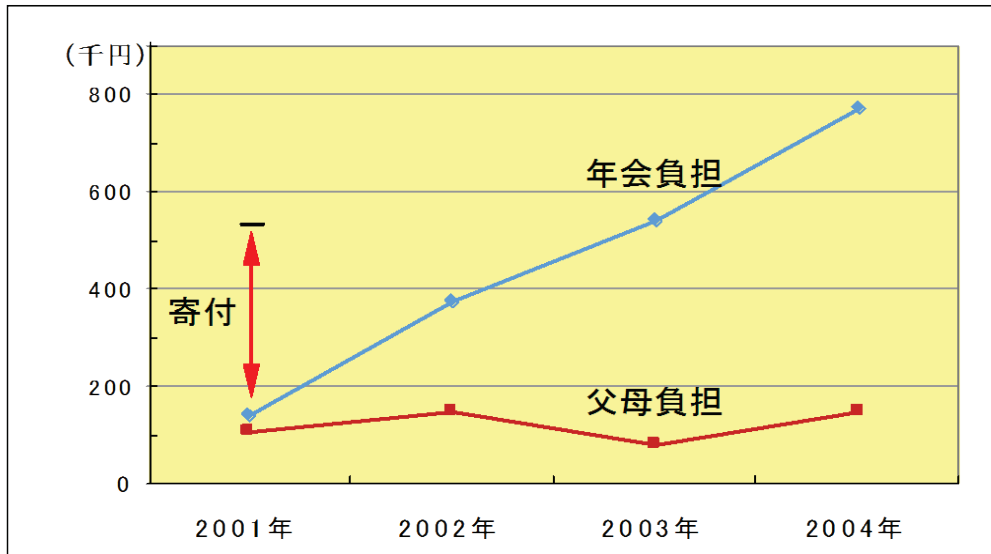
年会保育室が有効に機能している

保育室にくる子供の数は右肩あがり！！



保育単価が下がると利用者は激増

年会負担も右肩あがり！！



新たな問題が浮上



保育単価が下がるとキャンセルがふえる

キャンセル料はバカにならない！！

(8～9万円：年会の負担経費の1割強)

時間帯	早朝	午前	ランチタイム	午後	夕方	夜
	8:30 - 9:	10:00 - 11:	12:00 - 13:	14:00 - 17:00	17:30 - 19:00	19:30 - 20:
1日目	■	■	■		■	■
2日目	■		■		■	
3日目	■					
4日目	■		■	■	■	



予約してシッターが待機したにもかかわらず、こどもが1(4時間)だった。



シッターよりもこどもの数が少なくなってしまった。こども1人に(1時間)3

シッター料金：2,600円/1時間

(2003年・神戸大会の例)

本当に必要な時間帯を選ぶように会員に徹底する必要

年会保育室の形態

- 保育について
 - 外部委託（１）：シッター会社へ委託→高い
 - 外部委託（２）：NPO型→節約型
- 運営について
 - ボランティア型：会員が時間をとられる
 - 年会組織委員会と学会事務局：継続した責任者が必要

学会規模や予算、会員のニーズに応じた選択が大切

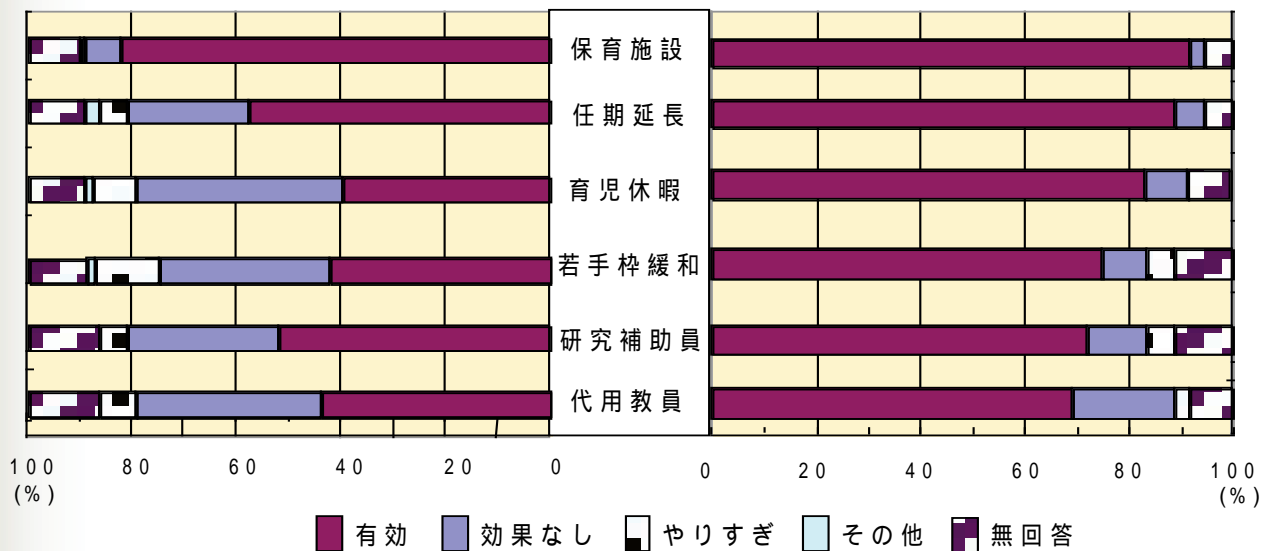
年会保育室があればそれでよいのか？

問い：キャリア形成途上の研究者への育児支援策としては、
どのような方策が有効でしょうか？

(2003年 東京大学・分子細胞生物学研究所意識調査より)

男性 (n=73)

女性 (n=36)



分子生物学会の具体的な活動

(MSBJ HP:<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msbj/>にも掲

載)

- 年会シンポジウム (2002, 2003, 2004)
 - 男女共同参画・ネットワークづくりに向けて
 - キャリア形成とライフサイクル (研究と育児の両立)
 - 女性研究者がグループリーダー (PI) になるには!!
- 提言の作成と提出 (2003, 2004)
 - 子育て支援ポスドク制度
(自立した女性研究者をそだてるために)
 - ライフサイエンスの分野における男女共同参画の推進に関する提言